

令和2年11月5日開催 全国知事会議における西脇知事発言

資料7 活力ある地方の実現に向けた提言

- ・ 地方創生につきましては、第二期の総合戦略がスタートしておりますので、この着実な推進をしっかりと国に求めるべきであると考えております。
- ・ また、東京一極集中の是正につきましては、今回の新型コロナウイルス感染症により、改めて人口の過度の集中に伴うリスクが浮き彫りとなりました。加えて、リモートワークなどの場所を問わない働き方、若者の地方定住への関心の増加、二地域居住、ワーケーションという新たなライフスタイルも現れてきております。こうした社会の変化の兆しをしっかりと定着させていくためにも、東京一極集中の是正につきましては、税制面も含めて、思い切って進めていくよう国に対し求めていただきたい。

資料9 新たな5か年対策による国土強靱化の加速と地方創生回廊の構築

- ・ いろんな方から発言が出ておりますが、令和2年度で期限になります、「防災・減災、国土強靱化の3か年緊急対策」につきましては、総需要対策という意味でも、予算措置の継続・拡充、5か年程度の中期計画に基づく安定的な予算の確保をお願いしたい。
- ・ また、こうした国土強靱化対策を円滑に進められるように、防災・減災対策に活用できる起債制度の期限の延長と対象事業の拡充を是非ともお願いしたい。

資料10-1 新型コロナウイルス感染症に関する緊急提言（案）

- ・ 今後の感染対策でございますけれども、京都府でも、国の方針を踏まえまして、発熱等の症状のある方が身近な医療機関で相談・受診・検査まで受けられる体制整備を進めておりますが、その中で、抗原簡易検査キットが医療機関に十分に行き渡るのかという懸念が出てきておりますので、引き続き検査キットの生産・流通の確保についてお願いしたい。
- ・ 水際対策について、京都府内の米軍施設でも7、8月に発生をいたしました。引き続き、感染防止対策の徹底と必要な情報の速やかな提供について国に強く働きかけていただきたい。
- ・ 雇用の安定でございます。何と言いましても、雇用情勢については、非常に厳しく、また先行きが見通せませんので、現行の雇用調整助成金の特例措置の内容を維持しながら、さらなる期間の延長をお願いするということと、併せて、なかなか厚生労働省も堅いですが、緊急雇用創出事業につきましては、失業者のみならず、退職者も含めて、また年度をまたいだ柔軟な運用をできるリーマンショック時以上の、より柔軟な制度の創設をお願いしたい。雇用については非常に厳しい状況にあります。是非とも、飯泉会長のリーダーシップでもよろしくお願いしたい。

資料10-2 「年末年始」新型コロナにご注意を！（全国知事会からのメッセージ）

- ・ 年末年始に向けたメッセージについて、特に京都では、毎年初詣に、伏見稲荷大社や八坂神社などに全国から数百万人の方がお越しになることから、こうした点も含めまして、国においての十分な広報、周知の対応をお願いしていただきたい。
- ・ いずれにしても、このメッセージにつきましては、効果のあるメッセージとなるよう、みんなで取り組んでいかなければならないと思っております。